

資料4

保護林の一部解除等について

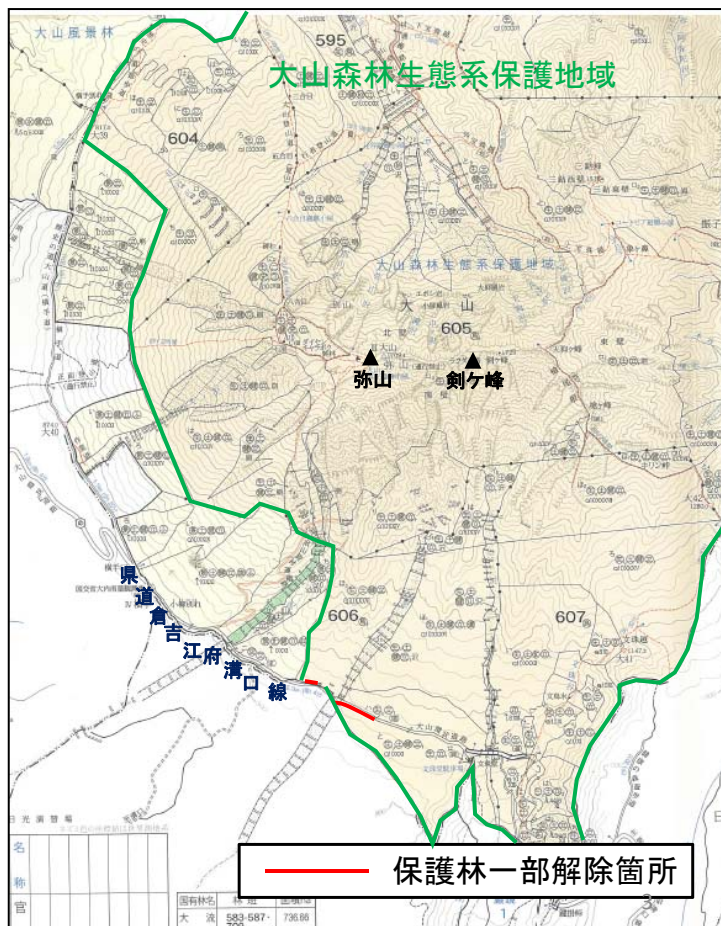
1 大山森林生態系保護地域の一部解除

保護林の一部を解除する理由

- 県道倉吉江府線の保護林一部解除箇所付近は大雨等の時に沢から土砂が流出し、度々通行止めに。
- このため、地元要望を受け、鳥取県が沢部分を橋梁により高架道路とすることとし、これに伴い工事に必要な区域として保護林の一部を解除するもの。

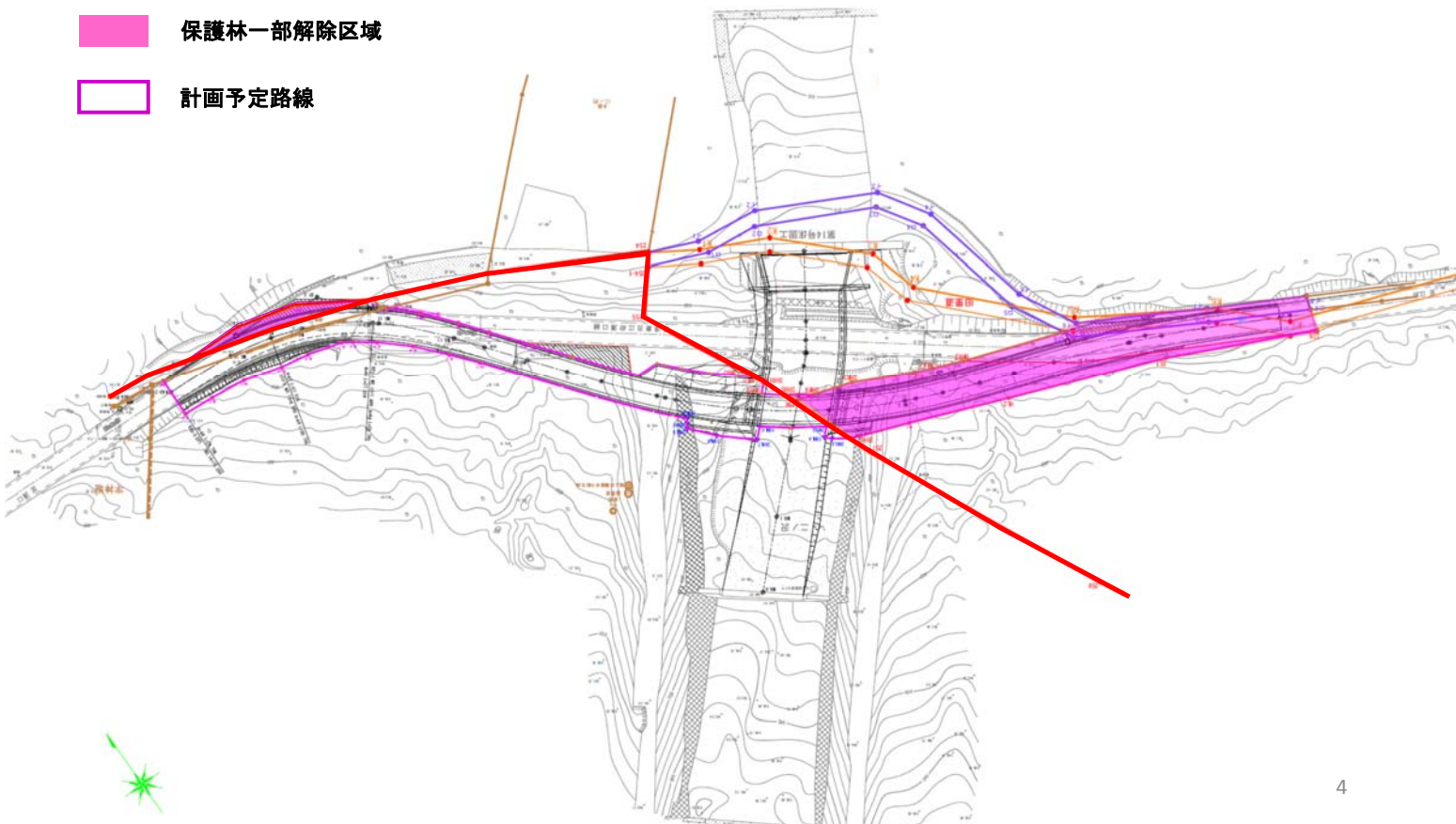
保護林一部解除面積

林小班	面積(ha)	現況
606と	0.06	天然生林
606イ2	0.02	沢敷等
606ハ	0.09	道路敷等
計	0.17	



保護林一部解除区域

- 国有林界
- 保護林一部解除区域
- 計画予定路線



保護林一部解除区域の現況写真



606と林小班(一部解除は道路敷及び正面の一部の森林)



606イ2林小班(一部解除は沢敷及び周辺の森林)



606ハ林小班(道路敷の一部)

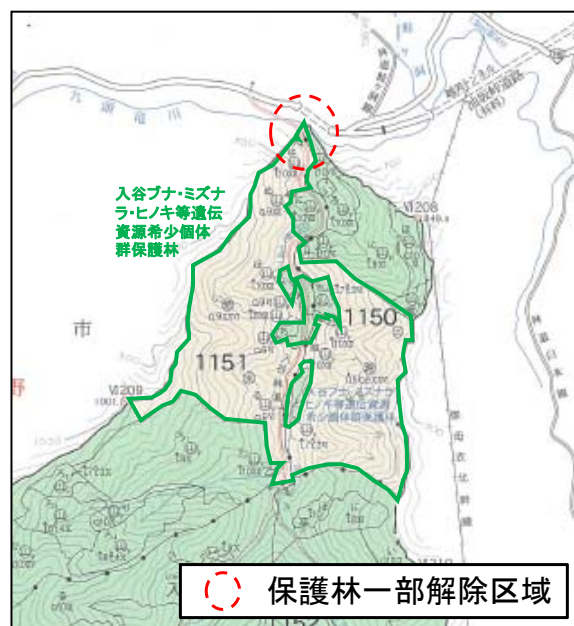
5

2 入谷ブナ・ミズナラ・ヒノキ等遺伝資源希少個体群保護林の一部解除

保護林の一部を解除する理由

○地元からの高度医療施設へのアクセス、災害時の安定的な交通の確保等の要望を受け、国土交通省が中部縦貫自動車道の一部である大野油坂道路建設に着手する予定。このためには本保護林の一部を解除する必要がある。

○なお、道路建設に伴い仮栈橋の設置が必要であり、この部分の樹木は伐採されること、この結果、北側に僅かな面積が飛地として残るため、併せて解除。飛地の樹木は伐採しないこととする。



保護林一部解除面積

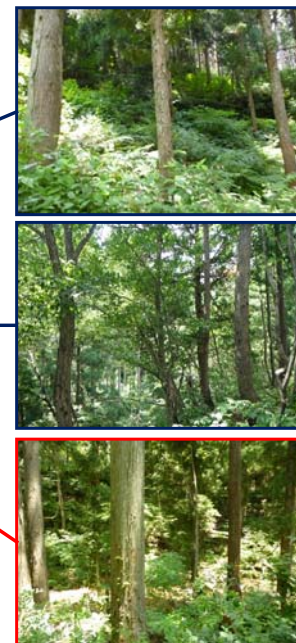
林小班	道路敷 (ha)	仮栈橋区域 (ha)	北側飛地 (ha)	計
1150ろ	0.2143	0.0306	0.2069	0.4518
計	0.2143	0.0306	0.2069	0.4518

6

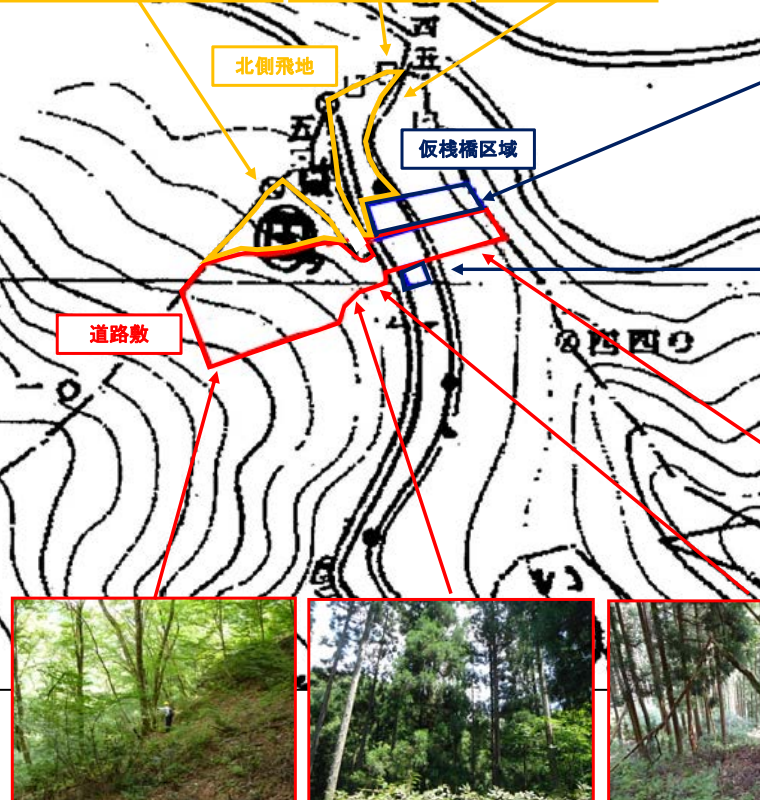
北側飛地	樹種	本数	材積
保護対象樹種	スギ	0	0.00
	ブナ	2	2.14
	ミズナラ	2	1.24
	小計	4	3.38
保護対象樹種以外	スギ	32	28.02
	ミズメ	1	0.32
	カエデ	1	0.13
	その他	10	4.27
	小計	44	32.74
合 計		48	36.12



仮棧橋区域	樹種	本数	材積
保護対象樹種	スギ	0	0.00
保護対象樹種以外	スギ	21	17.68
合 計		21	17.68



道路敷	樹種	本数	材積
保護対象樹種	ヒノキ	1	0.77
	ブナ	1	0.11
	ミズナラ	13	10.62
	小計	15	11.50
保護対象樹種以外	スギ	22	19.00
	コナラ	1	0.26
	ミズメ	1	0.89
	ホオノキ	3	2.05
	その他	57	24.98
	小計	84	47.18
合 計		99	58.68



7

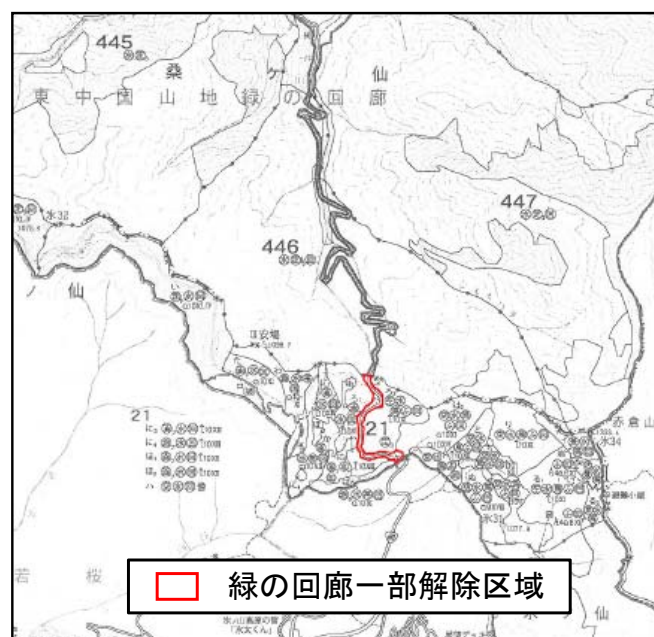
3 東中国山地緑の回廊の一部解除

緑の回廊の一部を解除する理由

- 東中国山地緑の回廊には国道482号線が貫いており、現在、土石の落下が頻発し、通行止めとなっている。
- 地元住民や自治体から安全な通行の確保のため改良工事の要望がある。
- このため、道路管理者である鳥取県が法面工事を行うこととなり、必要な区域を緑の回廊から解除するもの。

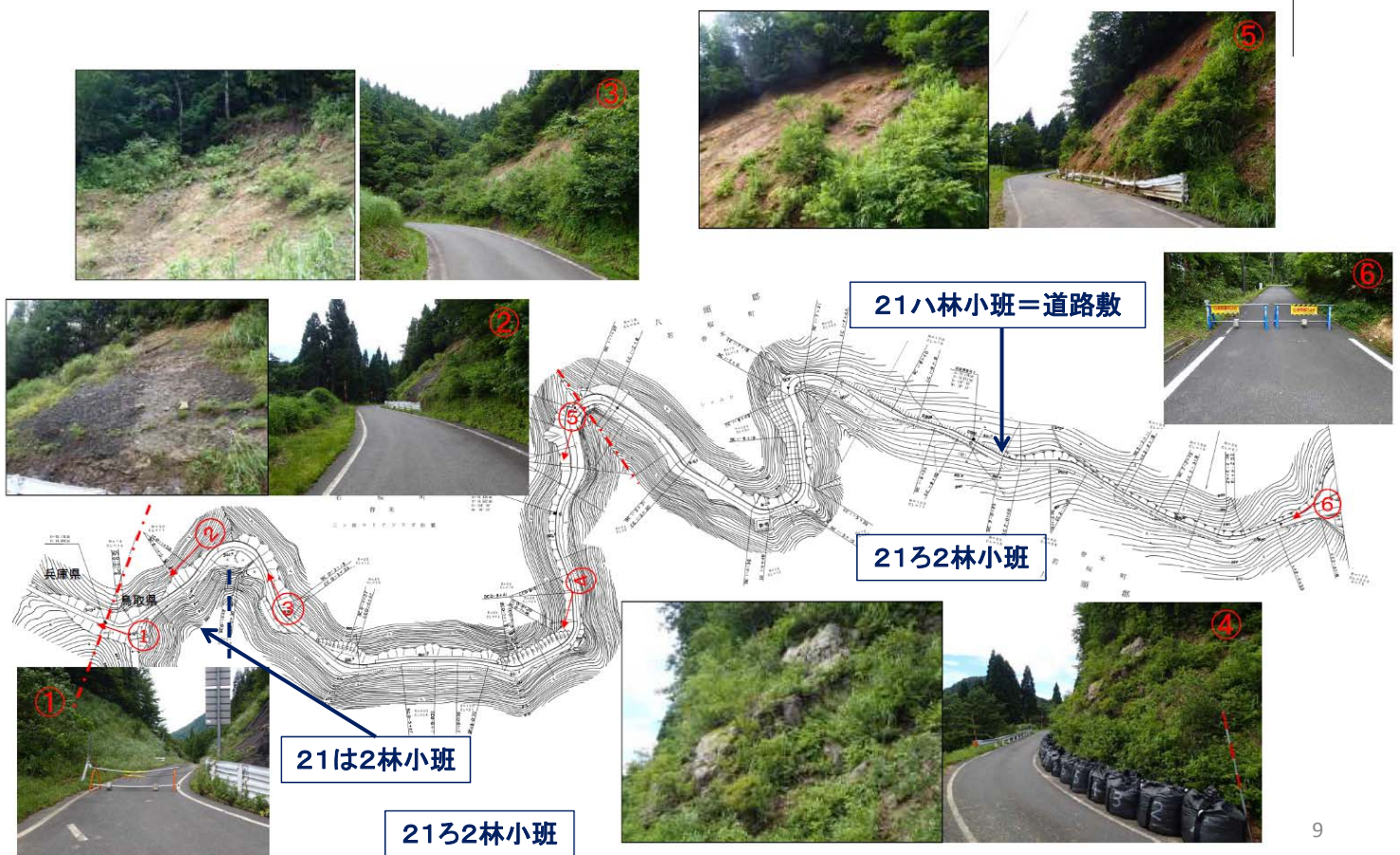
緑の回廊一部解除面積

林小班	面積 (ha)	現況
21ろ2	0.18	天然生林(59年生)
21は2	0.01	沢敷ほか
21ハ	1.26	道路敷
計	1.45	



8

国道周辺の現況



9

緑の回廊一部解除区域の林況等



21ろ2



21は2



21ハ(道路敷)

10

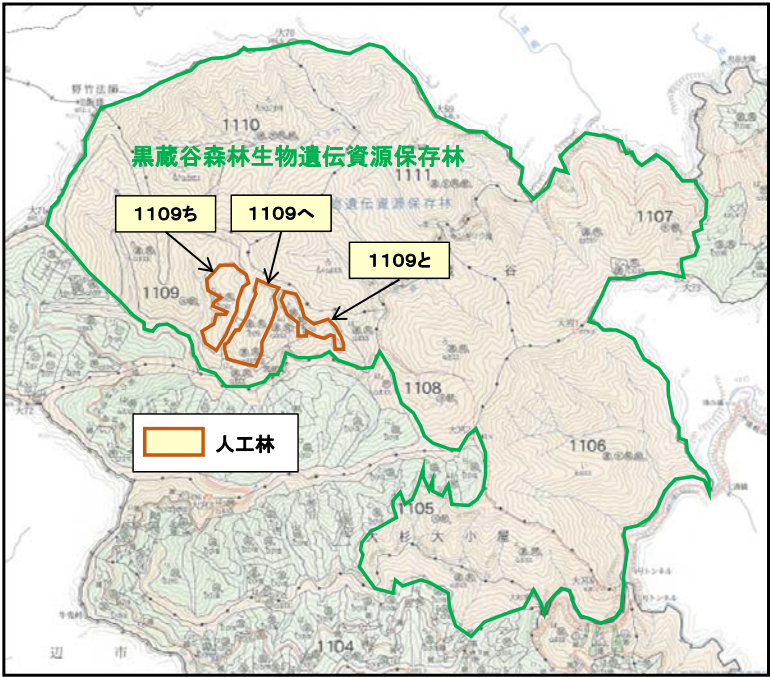
3 黒蔵谷森林生物遺伝資源保護林内の人工林の間伐

人工林の間伐する理由

- 本保護林には人工林が存在。
- ha当たりの本数は2,850～3,250本/ha。
過密な状態で、下層植生が衰退。
- このため間伐を行い、林内の光環境を改善するもの。

各人工林の状況

林小班	樹種	林齢 (年生)	面積 (ha)	立木密度 (本/ha)
1109へ	スギ	32	1.51	3,150
	ヒノキ	32	4.07	3,250
1109と	ヒノキ	33	2.58	3,500
1109ち	ヒノキ	30	5.02	2,850
計			13.18	



全 景



1109へ



1109へ



1109へ



1109と



1109と



1109と



1109ち



1109ち



1109ち

